



カヌー部前部長

濱井 功平



カヌー部新部長

田村 一輝

私たちは川根高校カヌー部は、8月1日から6日までの6日間、岐阜県の長良川で開催されたインターハイに出場しました。私自身、昨年もインターハイへ出場しましたが、今年は昨年とは違い、補欠ではなく選手として出場しました。そのため、全国で戦えるよう日々厳しい練習を取り組んできました。川根高校、そして静岡県の代表として恥じないよう、悔いのないようレースに挑んできました。しかし、全国のレベルも高く、出場したほとんどの種目で準決勝敗退という形で終わりました。そのような中で、カヤックフオアメンバーの松

崎君、小野島君、和田君、石川君の4人が決勝の舞台に立つことができたので、チームの部長として誇らしく思いました。また、松崎君は福井県で行われる国民体育大会に出場するので、さらなる活躍を期待しています。そして、小野島君は、9月にポルトガルで行われたカヌーマラソンの日本代表として世界選手権で活躍しました。

私は、2年半カヌーをさせていただき、多くの人に支えられてきました。これから、私たちに関わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、何事にも一生懸命取り組みたいと思います。

私は川根高校に川根留学生として来ました。今までは、家族にしてもらっていたことを自分一人で行い、初めて家族の大切さやありがたみを感じる事ができています。

カヌー部では、3年生が引退し新チームの部長になりました。私は自分が部長を任せてもらえるとは思っていませんでした。私は初めてインターハイに出場した時にとっても緊張しました。しかし、先輩たちは自分の漕ぎをし、決勝の場に立っていました。リーダーとして部員を引っ張り、部員全員から信頼を集めていた濱井先輩はとてすごかったのだ

と改めて感じました。今はまだ私がチームを引っ張っているのか自信はありませんが、部員に力を借りながら自分たちなりのチームを作っていきたいと思います。そして、カヌー部を支えてくださっている保護者、OBの方々、顧問の先生、地域の方々への感謝を忘れずチーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。

